

2011年度第1回阪神地区研究会 報告

平成24年1月16日作成

日時：2011年8月5日（金） 13:30~16:30
会場：大阪クリスチャンセンター 2階多目的ホール
テーマ：「電子書籍と図書館における学習環境」

基調講演「電子書籍制作から図書館での学習デザインまで」

小松 泰信（大阪女学院大学 国際・英語学部 准教授）

【内容概要】

ePub 3.0 や html 5.0 の全容が明らかになる中で、リッチコンテンツになる電子書籍はすでに私たちの知る図書の範疇を超える可能性を秘めています。他方では背景に広がるソーシャルメディアや学習システムとの連携によって、電子書籍を介した共同学習モデルの考案が求められています。特に電子教科書等の教材の電子化からその配信および学習サービスの提供についての諸問題を取り上げ、今後の大学図書館の役割や可能性などについて示唆された。

業者提案と機器等展示

【内容概要】

基調講演に即して2社からの提案と関連機器の展示があった。株式会社内田洋行は「デジタルサービスと、EVERNOTE で実現する“授業のコンテンツ化”と“教材の電子化”について」、丸善株式会社は「書籍電子化についての丸善 CHI グループとしての取組み」について聞いた。

2010年度海外認定研修報告

「米国大学図書館におけるライティング・センターの役割について」

川崎 安子（武庫川女子大学附属図書館 主任司書）

【内容概要】

武庫川女子大学の川崎安子氏が2011年2月に海外認定研修としてアメリカの大学図書館を視察された。訪問先はワシントン D.C.中心部にあり5つの図書館を持つ有名私立大学のジョージ・ワシントン大学、もうひとつはワシントン D.C.近郊にあるカトリック系名門私立大学、8つの図書館を持つジョージタウン大学で、それぞれの大学図書館のライティング・センターについてその役割、運営、利用状況などを中心に写真とともに報告を聞いた。

参加校：33校

参加人数：52名

以上